

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		青少年育成市民会議活動支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	生涯学習課	
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名	高木 敏明	
	基本事業	59	地域における子育て支援		所属班	生涯学習班	(内線)	1504	
予算科目					会計	1	款	10	
					項	5	目	1	
					事業連番	10818			
					<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	11
								コスト削減優先度評価結果	6*15
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和56 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 生涯学習各種事務事業での職員時間外手当をこの事務事業に一括して計上している。									
【業務の流れ】 時間外勤務命令→時間外勤務→時間外勤務報告→課長承認									
【主な予算費目】 時間外勤務手当									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 職員の各種事業の時間外手当773千円を支出した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 時間外手当911千円
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 生涯学習班職員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 時間外手当金額 回 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生涯学習推進等事業を円滑に行う。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 時間外手当必要事務事業数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守り、育てていく。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 時間外勤務時間 人 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	0	0	880	773	911	911		911
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		1
		延べ業務時間	時間	300	300	200	400	400	400		400
(B)人件費計		千円	1,191	1,194	796	1,592	1,592	1,592	1,592		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,191	1,194	1,676	2,365	2,503	2,503	2,503		
活動指標	ア イ	回	30	30	20	20	20	20	20		
対象指標	ア イ	人	280	280	150	150	150	150	150		
成果指標	ア イ	人	未集計	150	150	150	150	150	150		
上位成果指標	ア イ	%	49.7	37.1	47	34.2	46	45			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
行政評価システム各事務事業別予算計上により時間外勤務手当の計上を各事務事業で計上した場合、以後の事務処理が煩雑になることからこの事業に一括計上し事務処理の効率化を図っている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
事務処理上の時間外勤務手当の計上事務事業の変更である。以前と比較して、各事務事業推進の効率化により時間外勤務の圧縮を図っている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
該当なし。

事務事業名	青少年育成市民会議活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 団体の支援を通して、積極的に青少年を見守る地域づくりにかかわってもらうことで、政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 青少年の育成に関わる各種団体を結集して「市民会議」を結成しているため、青少年育成とともに、地域づくりにもつながり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 現状では対象、意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民会議の構成メンバーは多くの団体が構成されており、団体単位での青少年育成活動なども行っているが、その成果をうまく結集した活動で、全体的な運動を開催していくべきである。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市民会議が取り組む青少年育成の活動を困難にし、団体の存続を脅かすことになる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各種団体の運営への関与は難しいが、その集合体として動く市民会議は、活動内容次第で成果向上は図れると思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 団体への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民会議は全市あげて青少年の健全な育成に取り組む団体であり、受益の偏りはありえないので公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性については、…。 青少年育成市民会議の活動は、各種団体の活動内容を総和して、「どのような活動が青少年の健全育成に必要なか」をよく検討して行う必要がある。 ③ 効率性については、…。 その内容次第では、助成金の額もより少なくて済むと思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 青少年育成市民会議の活動は、各種団体の活動内容を総和して、「どのような活動が青少年の健全育成に必要なか」をよく検討して行う必要がある。 その内容次第では、助成金の額もより少なくて済むと思われるが、市民会議構成員の篤志的活動も必要になるとと思われる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

市民会議の活動の重点をどこに置かは、議論が分かれるが、「地域で子どもを見守り育てていく活動」を軸に検討が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)